

神話から現代まで途切れることなく続いている希有な国“日本”

<p>①天と地が分かれる</p>  <p>日本の神話は、天と地が分かれるところから始まります。神話は天と地をつなぐお話です。誰がつなぐのでしょうか。</p>	<p>②最初の神様があらわれる</p>  <p>天之御中主神。この先、二度とあらわれません。この後、高御産巢日神、神産巢日神があらわれ、次々に神様が…</p>	<p>③イザナギ・イザナミの登場</p>  <p>男女の神がお互い違いを認め合い、日本列島をお生みになります。私たちの国土には神様の命が宿っているのです。</p>	<p>④神様もできそこないだった</p>  <p>イザナミは火の神を生み、火傷を負って死んでしまいます。イザナギは火の神を殺してしまいます。できそこない！</p>
<p>⑤イザナミとの別れ、イザナギの成長</p>  <p>なんと、イザナギ、黄泉(死者)の国へイザナミを追いかけます。でも、正気を取り戻し、イザナミと別れを告げます。</p>	<p>⑥イザナギの禊・三貴神誕生</p>  <p>穢れたイザナギは禊ぎをすると、天を治める天照大神、夜を治める月読命、海を治めるスサノオが誕生。</p>	<p>⑦天照大神の成長物語</p>  <p>天上で暴れたスサノオのせいで天照大神は天岩屋にひきこもりですが、神様たちのお陰で成長し再び天を治めます。</p>	<p>⑧スサノオの成長物語</p>  <p>天上を追放され、地上に降りたスサノオ。八岐大蛇と対決。成長を遂げます。この時の剣を天照大神に献上します。</p>
<p>⑨天上の秩序が形成される</p>  <p>鏡と勾玉(天岩屋)と草薙剣(八岐大蛇退治)を「三種の神器」と言い、歴代天皇陛下に継承されています。</p>	<p>⑩大国主神の国づくり・因幡の白兔</p>  <p>スサノオの子孫である大国主神の国づくりへの第一歩。因幡の白兔を助け、八上姫から結婚を申し込まれますが…</p>	<p>⑪大国主神の国づくり・兄弟対決!</p>  <p>兄弟たちの怒りを買ひ、二度も殺されます。その度に母の力で生き返りますが、逃げるためにスサノオの元へ。</p>	<p>⑫大国主神の国づくり・スサノオの試練</p>  <p>スサノオからもいくつもの試練を与えられますが見事にクリア。成長を遂げ、本格的な国づくりが始まります。</p>
<p>⑬地上の秩序が形成される</p>  <p>スクナビコノ神と国づくりを進め、大物主神を祀り、葦原中国が豊葦原之千秋長五百秋之水穂国へ発展したのです。</p>	<p>⑭国作りから国譲りへ 二度の失敗</p>  <p>本来、この国を治めるのは天照大神の子。2人の神様を遣わせるが、大国主神に取り込まれ、失敗に終わります。</p>	<p>⑮国譲りへ 三度目の正直</p>  <p>三度目の交渉で「汝がウシハク葦原中国は我が御子のシラス国」と言われ、大国主神は国を譲ることにしました。</p>	<p>⑯天孫降臨 高千穂へ降りる</p>  <p>天照大神の孫のニニギは三種の神器を授かり、高千穂に降り立ちますが、地上を治める力が備わっていません。</p>
<p>⑰ニニギ 山の力を身につける</p>  <p>地上は山と海と国からなり、ニニギは山の神の娘、木花サカヤビメと結婚。姉をふったので寿命が短くなります。</p>	<p>⑱海幸・山幸の物語 ~兄弟対決~</p>  <p>山幸(ホオリ)は、兄の釣り針をなくしたことで、いじめられますが、海の神の娘、豊玉姫と出逢い、針を見つけます。</p>	<p>⑲山幸 海の力を身につける</p>  <p>水をコントロールする力を身につけたホオリ、兄(海幸)を倒し従えます。豊玉姫との間にウガヤが生まれます。</p>	<p>⑳ウガヤ おばと結婚(海の力)</p>  <p>ウガヤは豊玉姫のおばである玉依姫と結婚。後に初代神武天皇となる神倭伊瓦レビノミコトが生まれます。</p>
<p>㉑神武東征</p>  <p>神倭伊ワレビノミコト(神武天皇)は、兄の五瀬命と東へ向かい、豪族と戦い、橿原の地を目指します。</p>	<p>㉒初代神武天皇 即位</p>  <p>天照大神の子孫である神武天皇が初代天皇として即位します。日本を家族のような国にしようと建国します。</p>	<p>㉓国の力を身につける</p>  <p>大物主神の娘と結婚し、国(土地)の力を身につけ、ようやく天と地が結びついたのです。</p>	<p>㉔現代へ 126代天皇陛下</p>  <p>日本建国から2684年、126代続く日本の元首、天皇。世界で最も古い国“日本”はまだまだ続きます。</p>